

「わたしとルントウとではどちらがかわいそうか」－最終弁論－

わたし側の最終弁論

司会 では、これからわたし側の最終弁論に移ります。時間は2分です。

佐藤（ル） やはり、私たちは「わたし」の方がかわいそうだと思います。それは、「わたし」がいつも一緒にいた友人たちと本当は昔のように話したかったと思っていたのだと思います。それなのに、ルントウに「わたし」の期待を裏切るようなことを言われ、悲しみ、思い出のたくさんつまった故郷を離れるとき寂しさがあると思います。

それに対して、ルントウは、心の支えになる家族もいるし、故郷もちゃんとあるので、また生活は楽になると思います。やはり、私たちは「わたし」の方がかわいそうだと思います。これで私たちの最終弁論を終わらせていただきます。ありがとうございました。

司会 ありがとうございます。時間は1分21秒でした。では、続けてルントウ側の最終弁論を始めてください。時間は同じく2分です。

ルントウ側の最終弁論

野崎（わ） やはり、私たちはルントウの方がかわいそうだと思います。「わたし」のかわいそうは、ルントウのかわいそうには及ばないと思うからです。「わたし」の悲惨さは、その時期その時期のことだけであって、何年か経てば、忘れられてしまうと思います。それは、140ページの「密かに彼のことを笑った。」というところからです。

それに比べて、ルントウは永遠に忘れることのできない普通の生活の中で、その悲しみを繰り返すからです。「わたし」は異郷の地に行きたくて忘れることができるかもしれないけれど、ルントウはずっとこのまま暮らさなければならないからです。

これで、ルントウ側の最終弁論を終わらせていただきます。ありがとうございました。

司会 ありがとうございます。時間は1分1秒でした。それでは、判定表に記入してください。討論に参加したチームもそれぞれ書いてください。

判定と講評

司会 それでは判定に移ります。「わたし」側の方が優れていたと思う判定員は手を挙げてください。20名です。

次に、ルントウ側が優れていたと思う判定員は手を挙げてください。6名です。最後に先生に講評をお願いします。

高澤 今回の論題のポイントは、2つあると思います。1つめは、だんなさまのところですね。教科書を見てください。「だんなさま！・・・」となっています。だんなさまと言われた「わたし」の方がかわいそうなのか、だんなさまと言うしかなかったルントウの方がかわいそうなのか。これが、1点めのポイントです。

2点めは、この問題を簡単にしてみると、「わたし」はある程度お金もあるし、物もあるけれども、貧しい。何が貧しいのか。心が貧しい。「わたし」は心、ルントウはというと物が無い。食べ物、品物という物が無い貧しさ、どちらがかわいそうか、ですね。これが、2つめのポイントだと今回のディベートを聞いて思いました。